

I. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）の教育理念・目標及び3ポリシー

（1）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）の教育理念・目標

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻（以下、生命薬科学専攻）では、生命薬科学分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、薬科学に関連する分野の基礎的素養を涵養し、高い国際性と倫理観を備えた創薬研究者及び高度専門職業人の育成を行うことを目的としています。

（2）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

1. 生命薬科学に関する幅広い基礎知識を修得している。
2. 先端的生命薬科学研究を行うために要する研究技能の基礎を身につけている。
3. 自らが主体的に研究を遂行できる総合能力の基礎を身につけている。
4. 英文による先端的生命科学論文を作成する基礎能力を身につけている。
5. 生命科学研究者・技術者に必要な豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる基礎能力を有する。
6. グローバルな視点を持った生命科学研究者・技術者として、国際社会に貢献できる基礎能力を身につけている。

と認められ、修士論文が学位論文審査基準を満たした者に対し修士(薬科学)の学位を授与します。

（3）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のカリキュラム・ポリシー

1. 講義科目では、生命薬科学の知識や技術の基礎を学べるメディシナルケミストリー特論・メディカルバイオ特論・天然薬物資源学特論・ヘルスサイエンス特論・臨床応用薬学特論や、非臨床試験・治験、ならびに特許関連を含めた医薬品開発に関わる創薬プロセスを学べる創薬プロセス特論や、生命科学研究領域の最新的话题を幅広く学べる生命薬科学トピックスを設けており、学生は興味のある多様な生命薬科学領域を選択して基礎的知識を学びます。

学修の到達度は、授業への積極的参加状況、レポート、筆記試験等により評価します。

2. 課題研究では、分子創薬科学課題研究Ⅰ、健康薬科学課題研究Ⅰ、天然薬物資源学課題研究Ⅰ、臨床薬学課題研究Ⅰのいずれかを選択して、英文による先端的生命科学論文の読解や作成する基礎能力を学び、生命薬科学研究者・技術者として、生命薬科学の研究を通して国際社会に貢献できる基礎能力を学びます。また、グローバルな視点を持った生命科学研究者・技術者として必要な豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる能力を養います。

学修の到達度は、レポートとプレゼンテーション・ディスカッションを通じて評価します。

3. 実験科目では、分子創薬科学特別実験、健康薬科学特別実験、天然薬物資源学特別実験、臨床薬学特別実験のいずれかを選択して、各専門領域の実験技能の基礎や、自らが主体的に研究を遂行できる総合能力の基礎を身につけます。

学修の到達度は、研究・実験内容に関するレポートとプレゼンテーション・ディスカッションを通じて評価します。

(4) 生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のアドミッション・ポリシー

生命薬科学専攻（博士前期課程）は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 薬科学および生命科学分野に関する専門的基礎知識を有する。

筆記試験（専門科目）を課します。

2. 薬科学および生命科学分野に関して、論理的な思考能力や問題解決能力を有する。

筆記試験（専門科目）を課します。

3. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる素養を有する。

面接試験で評価します。

4. 生命薬科学領域に興味をもち、医薬品の開発、ヒトの健康増進に向けて積極的に取り組もうとする「意欲」と「夢」を持つ。

面接試験で評価します。

5. グローバルな視点を持ち国際的に活躍できる生命科学研究者・技術者になるために必要な総合的な英語の学力を有している。

書類審査（TOEIC 公式スコア）を行います。

選抜方法に関する別表（生命薬科学専攻 一般コース）

求める資質等	入試区分	一般入試 「外国人留学生入試」
専門的基礎知識		筆記試験（専門科目）
思考力・判断力・問題解決能力		筆記試験（専門科目）、面接試験
生命科学への関心・意欲		面接試験
人間性、倫理性、協調性、リーダーシップ		面接試験
英語力「外国語力」		書類審査（TOEIC公式スコア） 「筆記試験（外国語）」